

平成 28 年度

# 事業報告

社会福祉法人しろね福祉会

特別養護老人ホームしなの園  
老人デイサービスセンターしなの園  
老人介護支援センターしなの園

# 平成 28 年度事業報告

## \*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

第 1. しなの園・沿革史	1-2
第 2. 総務部門	3
第 3. 業務部門	
1. 医務の活動状況	4-5
2. 給食の活動状況	5-6
3. 機能訓練の活動状況	6-7
第 4. 介護老人福祉施設事業	8-9
第 5. 短期入所生活介護事業	10-11
第 6. 通所介護事業	12-13
第 7. 居宅介護支援事業	14-15
第 8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）	
1. 理事会の開催状況	16
2. 防災訓練実施状況	17
3. 研修参加の状況	18-20
4. 実習生受け入れ状況	21
5. 事故発生状況	22
6. ボランティア受入状況	23-24

## 第1. しなの園沿革史（平成28年度）

月	日	動  き
4	1	辞令交付式（新規採用職員2名）、永年勤続表彰式（10年勤続1名）
	1	産業医として水戸部医院、水戸部先生と契約
	1	新潟白根総合病院（旧白根健生病院）と協力病院再契約
	10	庄瀬さくら祭り参加
	11・12・13	特養：お花見ドライブ
	18	新規採用職員1名（パート）
	18～24	DS：桃の花見ドライブ
	24	白根ローターアクトクラブ様、花の苗植えボランティア
	26	イオン白根店様、黄色いレシート贈呈式出席
5	1	庄瀬神社祭り（特養・SS・DS利用者参加）
	9～11	DS加茂川河川敷、鯉のぼり観賞ドライブ
	18	庄瀬小学校4年生交流（5/18,21,31、6/22、7/5,19、9/20、10/20,23,26）
	19	平成27年度事業・決算 監査
	21	庄瀬小学校運動会見学・参加（特養・SS利用者参加）
	25	第1回理事会
6	1～	平成28年度新潟市新総合事業サービスAモデル事業受託
	1	新規採用職員2名
	2・3・6	白根大凧合戦観戦（特養・SS・DS利用者参加）
	6	新規採用職員1名（パート）
	26	訪問販売（衣類、特養利用者対象）
	28	特養利用者結核検診（レントゲン車にて）
7	5～6	白南中学職場体験1名
	5	参議院議員選挙・期日前投票（4名）
	11	DSモデル事業受け入れ開始（利用者1名）
8	5	旧三市中東蒲原関係施設意見交換会（施設長・総務課長）
	14	庄瀬農村公園祭り参加
9	1	施設内セキュリティ見直し（職員玄関対応変更）
	1	衛生委員会（産業医水戸部先生出席、職場環境視察及び指導）
	9	貯水槽、配電盤、キュービクル塗装工事
	11	肢体不自由児者父母の会主催 ミュージックケア
	19	100歳お祝表敬訪問（1名）
	20	庄瀬小学校・かけこみ110番施設へ登録承諾
	21	新潟市、社会福祉法人制度改革説明会（2名出席）
	22	しなの園祭り（しなの園駐車場にて）
	27	社会福祉法人等指導監査（新潟市役所にて）
10	1	南区健康福祉フェア参加
	1	新規採用職員1名

月	日	動  き
	2	庄瀬地区防災訓練参加
	12	新潟県知事選挙・期日前投票（4名）
	14	家族介護者教室（新潟市委託事業）
	15	福祉の仕事ミニ面談会、参加
	20	第1回防災訓練（各事業利用者参加による大規模訓練、防災体験研修）
	23	庄瀬小学校文化祭見学（4名）
	23・24	そば打ち実演・試食（日清医療食品様）
	24～26	特養：紅葉狩りツアー
	27	第2回理事会
	28	みなふくねっと介護職員意見交換会（当園にて、施設見学実施）
11	1	新規採用職員1名（パート看護職員）
	6	ボランティア交流会
	8	DS：紅葉ドライブ
	13	にぎり寿司実演・試食（日清医療食品様）
	13	新潟市社会福祉協議会・発足60周年記念式典（理事長出席）
12	12	園内定期研修会・外部講師（株）マナーズ様による「OJTの進め方」
	14	第3回理事会（社会福祉法改正に伴う定款変更）
	25・26	餅つき大会（給食委員会主催）
1	23	消防立入検査
	23	園内定期研修会・外部講師（株）マナーズ様による「面談の進め方」
	29	介護福祉士・社会福祉士国家試験（介護福祉士1名、社会福祉士1名合格）
2	1	新規採用職員2名（生活相談員、看護職員パート→正職員）
	9	居宅介護支援事業所集団指導参加
	10	通所介護事業所集団指導参加
	13	新規採用職員2名
	26	庄瀬地区芸能祭、キッツエンジャー参加
3	1	深夜電力契約解除
	3	改正定款（新潟市認可）
	16	第4回理事会
	23	評議員選任・解任委員会開催（評議員7名選任、H29.4.1任期開始）
	29	第2回防災訓練（夜間想定）
	31	理事2名辞任（定款変更に伴う対応による）
○主任ケアマネジャー研修修了（1名）		
○ニラク様よりお菓子の寄贈（合計18回）		

## 第2. 総務部門

### 1. 総務部門の活動状況

#### □法令遵守

- ・各種法令の改正に伴い、必要な手続きを遺漏なく行った。また、法改正に対応する各種規程の見直しを行った。
- ・労働安全衛生法の改正により義務化されたストレスチェックについて、全職員を対象として実施し、結果の届出を行った。ただし、制度の周知不足とチェック方法が複雑すぎたため受審数が少なく傾向の把握に至らなかったため、簡単に受審できるようチェック方法を見直し職場環境改善を図りたい。
- ・社会福祉法人等指導監査において、契約に関する指導があり経理規程の確認を行うとともに適正な処理に努めた。

#### □職員の技術・知識の向上

- ・前年度に引き続き「接遇・ビジネスマナー」について研修を実施した。ロールプレイング形式により参加者が実際に体験することで、ビジネスマナーの重要性をより深められた。
- ・電話対応、窓口対応については、前年度マニュアルを作成したことにより統一された対応ができていた。
- ・事務職員を対象とした研修が少なく積極的な参加はできなかったが、情報共有することで、担当外の業務に関しても適切な対応ができた。

#### □人材の確保・定着

- ・採用・・・(新卒) 2名 (中途) 7名 (パート) 3名
- ・退職・・・(正職) 6名 (パート) 1名
- ・平成 28 年度も職員の入・退職が多く、不安定な状況が続いた。ただし、前年度と違い募集に対する反応が早く、欠員補充はスムーズに行えた。
- ・勤続年数の浅い職員の退職が目立つことから、原因の把握と労働環境の改善を図り、人材定着につなげたい。

#### □軽費節減

- ・定期点検と日常の確認を強化したことで、大規模な修理・修繕を防止できた。
- ・節水システムの導入、使用頻度の少ない深夜電力契約を廃止することで、光熱水費の削減を行った。

#### □リスクマネジメント

- ・定期的な防災(火災)訓練については実施できているが、大規模災害、特に水害時における対応訓練が実施できなかった。緊急連絡による招集訓練や近隣施設との合同訓練実施など検討していきたい。

### 第3. 業務部門

#### 1. 医務の活動状況

##### □利用者の処遇向上

- ・介護職員と連携して、体調不良者の早期発見、対応に努めた。
- ・家族の意向を尊重し、利用者の健康状態を嘱託医へ報告し指示を得、健康の維持に努めた。
- ・カンファレンスに参加し他職種との情報共有を図った。

##### □リスクマネジメント

- ・特養利用者においてインフルエンザ、ノロウイルスの発症はなかったが、在宅サービス利用者及び職員の罹患あり。その都度感染症対策会議を招集し2次感染の防止ができた。
- ・利用者、職員に対して11月にインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・特養利用者、肺炎球菌ワクチン対象者に予防接種を行った。
- ・感染症に関して、定期研修会、朝礼等で注意喚起に努めた。

##### □職員の技術・知識の向上

- ・外部研修「看護職員実務研修」「口腔ケア研修」「看護職員研修」「コーチング研修」「モチベーションアップ研修」「新潟県特別養護老人ホーム看護職員研修」に参加。医務ミーティング、研修会等で復命を行った。
- ・介護職員向けに定期研修会で、医療知識の研修を行った。
- ・介護職員全員に痰吸引の研修を行った。

##### □地域交流と貢献

- ・広報「なじらね」でインフルエンザ、ノロウイルスの情報を発信した。
- ・しなの園祭りで健康チェックを、白根保健生活協同組合と行った。

#### 【月別受診件数（人数）及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	22	16	19	19	26	20	20	27	19	15	13	15	231
日数	44	28	35	30	42	37	31	40	31	18	17	25	378

\* 吉沢医院以外も含む（内科、外科、神経科、眼科、循環器科、整形、皮膚科、神経内科、泌尿器科、脳外科）

#### 【月別点滴者数及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	4	6	4	1	5	3	4	3	1	2	3	40
日数	57	27	50	47	3	59	30	26	40	8	10	35	392

#### 【月別血糖 A1c、定期血液検査人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血糖	3	4	3	6	3	3	3	5	4	2	5	2	43
定期	13	10	10	18	15	11	9	8	8	19	17	9	147

\* 血糖 A1c は糖尿病でインシュリン注射が必要な方（毎月）、定期は6ヵ月ごと全利用者対象

【月別診察日数及び人数】 \* ( ) 内は臨時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
人数	79(2)	76(6)	76(2)	78(4)	79(3)	79(3)	72(6)	79(2)	78(2)	76(6)	76(5)	78(3)

【月別入院者数及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	0	0	0	3	2	5	1	1	2	1	0	16
日数	8	0	0	0	59	38	96	2	2	49	17	0	271

【月別歯科往診人数】 \* 毎月2回の往診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	14	16	22	14	14	15	14	21	16	14	15	24	199

【その他】

- 7月 胸部 X 線検査（結核検診） 77 名
- 10月 肺炎球菌ワクチン 10 名
- 11月 インフルエンザ予防接種 特養利用者 74 名、職員 91 名
- ※平成 28 年度退所者 24 名（施設での看取り 19 名 病院 5 名）

2. 給食の活動状況

□利用者の処遇改善

- ・ケアプランに基づいた適正な栄養ケアマネジメントの継続。
- ・多職種と情報共有し健康状態の維持及び低栄養状態の改善に向けて取り組んだ。
- ・多職種協働で褥瘡予防及び発症後の早期改善に向け適切に対応。
- ・給食委託業者と意見交換や情報共有を行いサービス向上に努めた。
- ・嗜好調査実施。来年度は意向を反映できるように活用していく。
- ・喜ばれる食事提供：郷土食 4 回〔石川県・佐賀県・鹿児島県・北海道〕  
 コンセプトメニュー 3 回  
 その他各種行事食
- ・給食委員会主催イベント：そば打ち 2 回〔10/23・10/24〕  
 握りずし 1 回〔11/13〕  
 餅つき 1 回〔12/25・12/26〕

□リスクマネジメント

- ・外部研修参加：「バザーに係わる食品衛生講習会」
- ・内部研修講師：「食中毒について」
- ・災害備蓄品〔ポット型浄水器・紙コップなど〕の補充
- ・保存水の入替〔2ℓ×120 本〕
- ・災害備蓄品、保存水の保管場所の整理

□地域交流と貢献

- ・平成28年10月に家族介護者教室の講師を務めた。
- ・庄瀬小学校より餅つきイベントのため「臼と杵」を借用した。

【食事形態別食数（単位：食）】

月	特 養							ショートステイ					デイサービス				
	常菜	刻み/ 極刻み	ムス/ ミキサー	経口 流動	経管 流動	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ムス/ ミキサー	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ムス/ ミキサー	合計	1日 平均
4月	3,008	2,001	1,222	180	450	6,861	221	924	274	140	1,338	43	539	86	11	636	21
5月	3,184	2,066	1,365	147	465	7,227	233	920	268	89	1,277	41	567	91	12	670	22
6月	3,194	1,969	1,394	133	450	7,140	238	868	284	57	1,209	40	548	89	16	653	22
7月	3,371	1,953	1,367	138	465	7,294	235	865	247	64	1,176	38	587	87	18	692	22
8月	3,470	1,948	1,335	93	465	7,311	244	904	245	20	1,169	39	555	81	19	655	22
9月	3,368	1,983	1,260	90	450	7,151	231	928	233	4	1,165	38	539	77	15	631	20
10月	3,372	2,174	1,386	93	465	7,490	242	903	264	0	1,167	38	560	80	18	658	21
11月	2,998	2,069	1,369	38	450	6,924	247	930	291	1	1,222	44	540	65	16	621	22
12月	3,057	2,079	1,445	21	442	7,044	227	1,023	267	41	1,331	43	571	69	15	655	21
1月	2,987	2,081	1,533	0	372	6,973	225	921	204	90	1,215	39	523	79	17	619	20
2月	2,847	1,926	1,710	0	389	6,872	245	895	238	93	1,226	44	503	69	16	588	21
3月	2,946	2,139	1,860	0	465	7,410	239	910	216	101	1,227	40	518	80	17	615	20
合計	37,802	24,388	17,246	933	5,328	85,697	236	10,991	3,031	700	14,722	40	6,550	953	190	7,693	21

3. 機能訓練の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・利用者個々の状況に合わせたプランの見直しと設定を行った。
- ・カンファレンス時に状況の確認や提言を行い、スタッフ共通の認識を図った。
- ・リハビリの認識が定着してきており相談等も増えてきた。

□リスクマネジメント

- ・訓練中の事故はなかった。利用者の体調不良時の転倒が多く、カンファレンスにて身体状況を伝えリスクの共有と軽減を図った。

□稼働率の維持、向上

- ・特養個別機能訓練実施率 89.6% 26,169/29,200人（延べ人数）
- ・ショートステイで体操教室・個別訓練を実施し、利用者の余暇活動の充実と個別ニーズに対応した訓練が定着してきた。

□職員の技術、知識の向上

- ・定期研修の参加、講師、部署内での実技講習などを行い、職員の知識向上が図れた。

□地域交流と貢献

- ・平成29年3月に家族介護者教室の講師を務めた。



【特養 個別機能訓練加算算定数（延べ人数）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
なし班	737	691	663	764	759	756	706	706	749	714	631	796
りんご班	739	709	740	705	706	711	676	739	716	703	627	739
ぶどう班	791	804	766	839	814	762	741	649	751	693	637	740
合計	2,267	2,204	2,169	2,308	2,279	2,229	2,123	2,094	2,216	2,110	1,895	2,275

【特養 機能訓練内容別実施人数】

訓練内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数
歩行訓練	生活	16	480	16	494	18	526	21	603	23	616	21	419
	個別	9	64	10	61	11	54	11	62	11	79	11	54
座位保持訓練	生活	45	1,266	43	1,222	40	873	38	1,014	39	1,150	37	1,094
	個別	1	4	1	1	1	0	1	4	1	6	1	1
立位訓練	生活	24	662	25	683	23	652	23	650	23	627	25	773
	個別	5	35	5	30	5	30	5	26	5	37	5	29
関節可動域	生活	4	22	4	27	3	22	3	24	3	16	3	22
	個別	17	52	15	70	15	58	13	68	13	58	14	31
車椅子自操	生活	11	320	11	379	10	269	10	246	9	219	7	204
	個別	2	40	2	42	2	42	2	42	2	34	2	30
作業	生活	6	124	5	133	5	112	5	114	6	93	4	90

訓練内容		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数	対象数	延べ数
歩行訓練	生活	19	502	16	458	17	478	17	501	19	460	19	530
	個別	9	63	7	85	12	98	7	54	7	63	10	59
座位保持訓練	生活	36	1,004	36	993	36	1,031	33	1,002	35	667	35	1,058
	個別	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
立位訓練	生活	25	709	27	772	26	792	26	809	25	687	29	874
	個別	5	21	5	19	4	25	6	59	6	42	7	66
関節可動域	生活	3	23	3	25	3	27	3	23	3	24	3	27
	個別	14	42	12	58	13	57	10	53	12	40	10	47
車椅子自操	生活	6	186	7	188	9	247	8	248	8	197	8	248
	個別	2	31	2	36	2	40	1	18	1	19	1	18
作業	生活	5	97	5	95	5	94	5	97	5	55	5	93

【ショートステイ 機能訓練実施人数】 \*全利用者を対象として機能訓練体制加算を算定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
集団体操	47	19	30	27	21	26	26	11	13	21	21	21
個別訓練	0	0	0	0	0	0	0	4	9	11	27	22

## 第4. 介護老人福祉施設事業

### 1. 平成 28 年度重点実施事項

#### □利用者の処遇向上

- ・プライベート空間づくりは進められなかったものの、環境整備の意識付けができた。
- ・臨機応変に多職種参加型のカンファレンスを開催でき、多職種協働のケアを実施できた。
- ・口腔ケアの技術向上により、利用者が発熱等で体調を崩すことが少なくなった。
- ・看取りケアは多職種連携のもと対応できた。看取りケアを希望された家族より、退所後園での生活やケアに対して、感謝の言葉を多くいただいた。

#### □リスクマネジメント

- ・骨折事故 4 件あり大事に至らなかったが、利用者と家族に苦痛と負担を与えてしまった。
- ・マニュアルの修正や夜勤体制を見直し、部署間での連携を図り再発防止に取り組んだ。
- ・些細なことでも「意見要望書」に残し、気づきを共有し改善できた。
- ・感染症対策について全職員で研修会を行い、感染症発症を防ぐことができた。

#### □職員の技術・知識の向上

- ・接遇に関して指導を繰り返してきたが、職員間で仕事の ON と OFF がうまく切り替えられない面がみられたため、職員の更なる意識向上に取り組みたい。
- ・定期研修会において介護職員が多分野で講師役を務める機会が多く、知識の向上と他職員へ伝える力が身に付いた。
- ・OJT（職場内訓練）において新人職員の育成に限らず指導係の指導力の向上がみられ、指導係と上司が上手く連携できた。

#### □地域交流と貢献

- ・地域行事の参加と、季節を楽しむ外出ツアーや個別の希望に合わせた外出ができた。
- ・ボランティアの継続的な受け入れと交流ができた。
- ・いきいき倶楽部で利用者と共に作成した作品を福祉フェアに出展できた。
- ・地域で開催される外部研修会に積極的に参加できた。
- ・実習生（次世代の担い手）を昨年度以上に受け入れることができた。

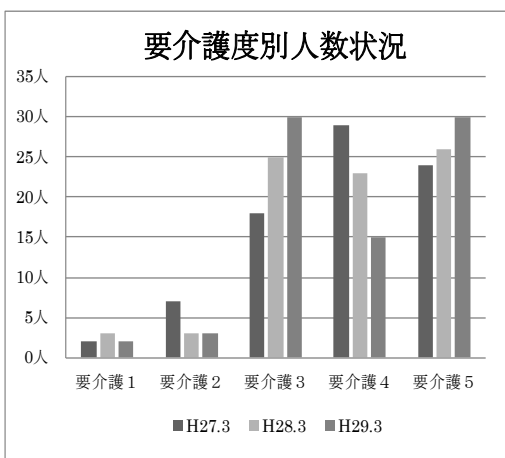
#### □稼働率の維持・向上

- ・目標稼働率 96%・・・実稼働率 97.3%
- ・例年以上に入退所者が多く稼働率が低下した。退所から次の入所までの空きベッド期間短縮等に取り組みたい。
- ・利用者の入れ替わりが多い状況で柔軟な受け入れができた。
- ・状態が変化した方の要介護認定区分変更を行った。
- ・「口腔衛生管理体制加算」算定にあたり、協力歯科医の指導のもと知識と技術が向上できた。

## 2. 業務実施状況

### 【要介護度別人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H27.3	2人	7人	18人	29人	24人	80人
H28.3	3人	3人	25人	23人	26人	80人
H29.3	2人	3人	30人	15人	30人	80人



### 【市町村別要介護度状況】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
新潟市	2人	3人	30人	12人	30人	77人
燕市				2人		2人
五泉市					1人	1人
田上町				1人		1人

### 【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2,389	2,403	2,296	2,427	2,420	2,340	2,320	2,339	2,435	2,366	2,182	2,480	28,397
稼働率	99.5%	96.9%	95.7%	97.9%	97.6%	97.5%	93.5%	97.5%	98.2%	95.4%	94.1%	100.0%	97.3%

### 【入退所状況】 \*入所者合計24名、退所者合計24名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新潟市	入所		3人	3人	2人	2人		2人	4人	3人	1人	4人		24人
	退所	1人	5人	2人	1人		2人	4人	2人	2人	3人	1人		23人
燕市	入所													0人
	退所			1人										1人
五泉市	入所													0人
	退所													0人
田上町	入所													0人
	退所													0人

### 【入所申し込み状況】 \*平成29年度より、その他(加茂市等)の申し込みを受付

	新潟市			燕市	五泉市	田上町	その他	合計
	旧白根市	旧新津市	旧小須戸市					
平成26年度	289人	4人	5人	1人	0人	76人	0人	375人
平成27年度	229人			0人	0人	36人	0人	265人
平成28年度	231人			1人	0人	57人	1人	290人

## 第5. 短期入所生活介護事業

### 1. 平成 28 年度重点実施事項

#### □利用者の処遇向上

- ・毎日ではないが、時間を見つけて簡単なゲーム、貼り絵、塗り絵などの余暇活動を提供することができた。また、季節を感じられるような行事を提供することができた。ご利用者それぞれの興味、昔の趣味などを把握することはできたが、個別ケアの充実と目的を持った余暇活動の提供まではできなかった。
- ・サービス計画書に基づいて排泄表の見直し、レイアウト変更を行い、職員間で情報共有ができるようになってきたが、統一されたサービス提供まではできなかった。
- ・接遇目標の設定、実施、評価をし、職員の初歩的なミスに対しては、話し合いを行って基本に立ち返ることができた。
- ・機能訓練指導員と連携し、機能訓練が必要な方に対して、ご本人のニーズに沿った目的ある個別リハビリが実施できた。また、「体操の日」のサポートが行えた。
- ・在宅生活を考慮し、できる限り自宅内の自室に近い居住空間の提供が行えた。

#### □リスクマネジメント

- ・日常のヒヤリハットを活用して要因分析を行い、未然に防げる事故には迅速に対応したため、大きな事故には繋がらなかった。
- ・利用者・家族とのコミュニケーションの中から意見・要望を拾い、確実な記録及び適切な個別ケアに努めたが、まだ不十分な点がある。
- ・送迎マニュアルを活用して送迎時の注意事項を再確認し、職員間で意識統一が行えた。安全・安心な送迎が行えた。

#### □稼働率の維持・向上

- ・目標稼働率 76% → 実績稼働率 72.9% (1日平均人数 14.5名)
- ・定期枠利用者の長期入院、特養・老健への入所があった中で、新規利用者は前年比で増加傾向にあるが、単発利用が多く稼働率に結びつかなかった。
- ・利用者は疾病を抱えた高齢者であり、長期入院、特養・老健への入所は常に起こりうる。そのため、今後も継続して居宅介護支援事業所に毎月の空室状況を提供し、新規・追加利用をスムーズに行えるような体制作りを行っていく。
- ・コミュニケーションを充実して利用者の性格や希望に沿った個別ケア、生活機能維持向上のための体操教室、行事やニーズに合わせた余暇活動を提供し、新規利用者が継続してご利用して頂けるよう努めていく。

#### □職員の技術・知識の向上

- ・定期研修会後、復命研修を行い、それを元にした取り組みについてまとめることができた。今後は、取り組み後の振り返りを確実にできるように体制を整える。
- ・新人職員に対し、勤務形態別に業務内容を説明・確認し、立ち上げが行えた。

#### □地域交流と貢献

- ・例年開催される祭り等の地域行事に参加することができた。それ以外では畑に関することで目的に添った計画的な外出支援を行うことができた。

## 2. 業務実施状況

### 【月別利用実績】

	平成28年度 利用内訳					平成28年度	平成27年度
	利用 人数	延べ 人数	1日平均	新規 利用者	送迎 件数	稼働率	稼働率
4月	44人	449人	15.0人	4人	203件	74.8%	84.0%
5月	45人	479人	15.5人	2人	231件	77.3%	78.9%
6月	40人	411人	13.7人	1人	195件	68.5%	77.2%
7月	41人	409人	13.2人	3人	199件	66.0%	73.1%
8月	45人	438人	14.1人	2人	207件	70.6%	72.9%
9月	41人	417人	13.9人	2人	196件	69.5%	74.3%
10月	41人	421人	13.6人	2人	181件	67.9%	73.2%
11月	45人	453人	15.1人	6人	197件	75.5%	78.8%
12月	42人	449人	14.5人	2人	189件	72.4%	81.1%
1月	38人	444人	14.3人	4人	166件	71.6%	74.0%
2月	40人	459人	15.8人	5人	185件	79.1%	81.6%
3月	44人	490人	15.8人	4人	226件	79.0%	77.1%
合計	506人	5,319人	-	37人	2,375件	-	-
平均	42人	443人	14.5人	3人	198件	72.9%	77.1%

### 【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者人数	2人	3人	15人	23人	27人	14人	4人	88人
利用者比率	2%	3%	17%	26%	31%	16%	5%	100%

## 第6．通所介護事業

### 1．平成28年度重点実施事項

#### □利用者の処遇向上

- ・通所介護サービス計画書に掲げた個別対応は、一覧表を作成し在宅生活での機能維持や向上に向け取り組む事ができた。
- ・自立支援への取り組みでは、安全性の配慮だけでなく繰り返し話し合いの場を設け、目的を明確にすることでサービス内容も充実でき利用者の自己決定にも繋がった。

#### □リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットの様式を見直し、振り返りを確実に実行し安全の確保を心掛けた。
- ・感染症時期の対応を徹底することにより、二次感染の予防に努めた。

#### □職員の技術・知識の向上

- ・細かいサービスやケア方法には個人差は見られるが、思い込みがないように適宜情報共有しながら対応の統一に努めた。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業についての理解や知識が職種によってバラつきがあり、勉強会を行うなかで興味や関心を持ってもらい職員全体での意識が高まった。

#### □地域交流と貢献

- ・福祉フェアや手工芸展示会、例年通り季節行事への参加ができた。
- ・外出支援の年間計画を立てることによりスムーズに外出することができ、利用者の期待感や楽しみが増え、地域の方と触れ合う機会が作れた。

#### □稼働率の維持・向上

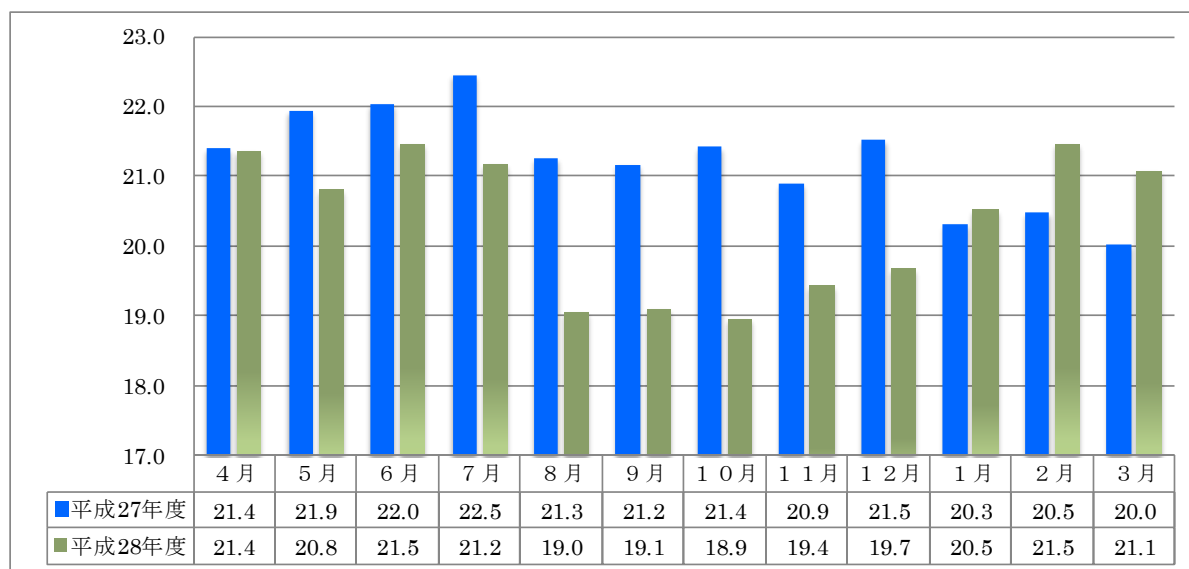
- ・目標稼働率 81% → 実績稼働率 81.3% (1日平均人数 20.3人)
- ・夏頃より入院者が増え稼働率が低下したが、年末の他事業所廃止による新規利用者の受入れで前年度並みに回復した。
- ・新潟市新総合事業サービスAモデル事業を受託し、7月から年度末までサービスを実施した。平成29年度から始まる介護予防・日常生活支援総合事業に向けて受入れ体制やサービス内容の基盤ができた。また、すでに実施している上越市の事業所に11月下旬に訪問見学し、管理・運営及びサービス内容等情報交換を行い基盤作りに役立てることができた。

## 2. 業務実施状況

### 【利用実績】

	実利用数	通所延べ利用者数	予防延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
						H28年度	H27年度	H28年度	H27年度
4月	84人	528人	113人	30	21.4人	1人	6人	85.5%	85.6%
5月	84人	533人	112人	31	20.8人	1人	0人	83.2%	87.7%
6月	84人	552人	92人	30	21.5人	1人	3人	85.9%	88.1%
7月	82人	565人	91人	31	21.2人	0人	0人	84.6%	89.8%
8月	77人	503人	87人	31	19.0人	0人	3人	76.1%	85.0%
9月	72人	487人	86人	30	19.1人	0人	4人	76.4%	84.7%
10月	75人	509人	78人	31	18.9人	4人	1人	75.7%	85.7%
11月	76人	502人	81人	30	19.4人	1人	0人	77.7%	83.6%
12月	77人	535人	75人	31	19.7人	2人	2人	78.7%	86.1%
1月	81人	551人	85人	31	20.5人	6人	1人	82.1%	81.3%
2月	83人	524人	77人	28	21.5人	3人	0人	85.9%	81.9%
3月	81人	565人	88人	31	21.1人	1人	2人	84.3%	80.1%
合計		6,354人	1,065人	365	20.3人	20人	22人	81.3%	85.0%

### 【月別平均利用者数】



### 【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成28年3月	5人	11人	19人	26人	15人	4人	3人	83人
	6%	13%	23%	31%	18%	5%	4%	100%
平成29年3月	4人	10人	23人	28人	11人	3人	3人	82人
	5%	12%	28%	34%	13%	4%	4%	100%

### 【新潟市新総合事業サービスAモデル事業登録者数】(3月で終了)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度			0人	3人	4人	5人	5人	5人	3人	3人	3人	3人

## 第7. 居宅介護支援事業

### 1. 平成28年度重点実施事項

#### □利用者の処遇向上

- ・アセスメントシートはプラン更新時等、順次活用した。課題の整理、見落としの予防に繋がった。
- ・ケアプラン作成では、利用者が目指す生活、役割や生きがいを目標へ繋げることを意識し、部署内での検討、サービス担当者との情報共有、サービス担当者会議での具体的検討を行った。
- ・利用者や家族、サービス担当者と「自宅での生活」を共有し検討することで、目標にしたいこと、目標達成に向けて必要なことが具体的となり、利用者の望む生活を送る為の支援に繋がった。

#### □リスクマネジメント

- ・業務マニュアルについては、実習生受入に関する手順書を作成した。
- ・防災マニュアルは、収集した情報と施設防災マニュアルの手順を整理し、必要な動きを確認することに止まった。

#### □職員の技術・知識の向上

- ・主任介護支援専門員研修、実務研修実習指導者研修について、各1名ずつ修了。各研修にも例年通り積極的に参加し、障がい福祉サービスの活用等実践に活かすことができた。
- ・平成29年度から開始された介護予防・日常生活支援総合事業に関する研修には必ず参加し、部署内でも随時確認を行った。また施設内の研修会において、他部署職員への情報発信を行った。
- ・事例研究では、他事業所との合同及び施設内の相談援助職との合同開催を行い、具体的な支援策や多職種連携、チームアプローチについて学び合うことができた。

#### □地域交流と貢献

- ・南区居宅連絡会の会員、事務局、役員として運営協力を行い、地域の居宅介護支援専門員同士の資質向上や多職種連携を深めた。打ち合わせ等で相談業務に欠員が生じる時も、部署内で対応し業務へ支障を来すことはなかった。
- ・外部事業所の廃止や職員退職に伴い、担当の引き継ぎを受託し、利用者支援に支障を来さないよう協力できた。

#### □稼働率の向上

- ・目標レセプト件数 108件/月 → 実績 106.8件/月 (解約者 19件、新規利用者 24件)
- ・目標達成はできなかったが、後半に向けて件数を増加させた。困難ケースの受託、また新規、解約者ともに増員し、担当利用者の変動も激しく、ケアプラン作成等に費やす時間が多かった。
- ・記録に関しては、全て導入されているシステムに統一し、効率化を図った。超過勤務の大幅削減はできなかったが、利用者に関する記録物の遅延は減少している。
- ・特定事業所として介護支援専門員実務研修見学実習の受け入れを行い、加算の算定を維持することができた。

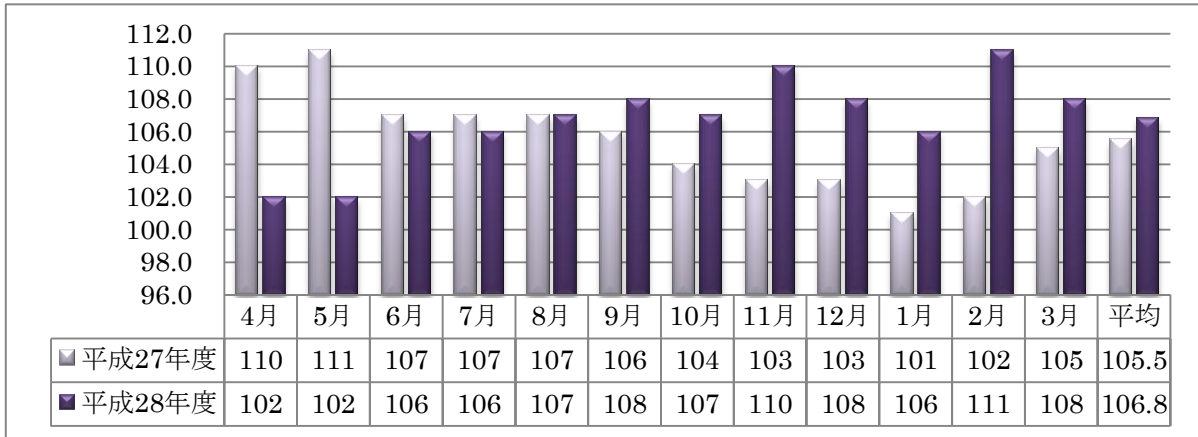


## 2. 業務実施状況

### 【実績件数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H27	介護	85	85	83	81	79	76	75	74	75	72	72	75	77.7	1,166,246
H28	介護	76	75	76	77	81	83	83	87	85	83	85	83	81.2	1,234,505
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H27	予防	25	26	24	26	28	30	29	29	28	29	30	30	27.9	118,530
H28	予防	26	27	30	29	26	25	24	23	23	23	26	25	25.6	98,775
その他	・認定調査件数 H28年度 124件/年(H26年度 120件、H27年度 119件/年)														

### 【実績件数推移】



### 【介護度別利用者状況(件数)】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H28年3月	9(8%)	21(20%)	19(18%)	28(27%)	18(17%)	6(6%)	4(4%)	105
H29年3月	6(5%)	19(18%)	21(19%)	32(30%)	18(16%)	8(7%)	4(4%)	108

### 【地域別利用者状況(件数)】

	新飯田	茨曾根	庄瀬	小林	臼井	その他	計
H28年3月	25(24%)	23(22%)	41(39%)	6(6%)	3(3%)	7(6%)	105
H29年3月	28(26%)	22(20%)	42(39%)	6(6%)	2(2%)	8(7%)	108

### 【加算状況年間件数】

	初回	入院時連携	退院・退所
H27年度	26	29	11
H28年度	34	23	14

### 【年間相談件数】

	相談経路				計	月平均
	電話	文書	来所	訪問		
H27年度	3,850	269	300	4,295	8,714	726
H28年度	3,737	266	282	4,188	8,473	706

## 第8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）

### 1. 理事会の開催状況

区分	日時・会場	事 項
第1回 理事会	平成 28 年 5 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 27 年度事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成 27 年度収支決算報告について  ＜監査報告＞
第2回 理事会	平成 28 年 10 月 27 日（木） 午後 1 時 00 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度上半期事業実績報告について
第3回 理事会	平成 28 年 12 月 14 日（水） 午後 1 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	1. 社会福祉法人しろね福祉会定款の一部改正について 2. 社会福祉法人しろね福祉会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 3. 社会福祉法人しろね福祉会評議員選任・解任委員の選任について
第4回 理事会	平成 29 年 3 月 16 日（木） 午後 1 時 30 分 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	1. 社会福祉法人しろね福祉会経理規程の全部改正について 2. 社会福祉法人しろね福祉会経理規程細則の一部改正について 3. 社会福祉法人しろね福祉会資金運用規程の制定について 4. 社会福祉法人しろね福祉会情報公開規程の制定について 5. 社会福祉法人しろね福祉会定款施行細則の全部改正について 6. 社会福祉法人しろね福祉会理事会の業務決定に関する事務専決規程の廃止について 7. 社会福祉法人しろね福祉会役員報酬及び費用弁償に関する規程の全部改正について 8. 社会福祉法人しろね福祉会役員等候補者の推薦について 9. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度第一次補正予算について 10. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度事業計画について 11. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度収支予算について 12. 社会福祉法人しろね福祉会通所型基準緩和サービス運営規程の制定について

## 2. 防災訓練実施状況

区 分	第 1 回	第 2 回
訓練の区分	消防計画に基づく総合訓練（昼間）	同 左（夜間想定）
実施の日時	平成 28 年 10 月 20 日（木） 14 時 00 分～14 時 50 分	平成 29 年 3 月 29 日（水） 11 時 00 分～11 時 50 分
実施の場所	調理室からの出火を想定し、正面玄関に避難	夜間調理室からの出火を想定し、ボランティアステーションに避難
訓練参加者	職員（32 名） 利用者（55 名）	職員（22 名） 利用者（45 名）
避難訓練内容	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器・補助消火栓を使用し、初期消火	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器を使用し、初期消火
講評・反省等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難誘導の際、職員の役割分担が明確で無駄なくスムーズに行えた。</li> <li>・ 職員同士の声かけができていた。</li> <li>・ 火元から遠ざかるよう誘導するための避難経路を把握しておくことが大事</li> <li>・ 土日祝日は日直職員が指揮者になるため指示・通報方法を防災マニュアルで確認しておく。</li> <li>・ 避難指示の放送が聞きづらかった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通報の際、外線電話のかけ方が分からない職員がいた。マニュアルの見直しが必要。</li> <li>・ 防火扉が閉まると避難しづらい。</li> <li>・ 夜間は職員が少ないため、効率的に避難誘導することが必要。不安を感じる。</li> <li>・ 職員の応援よりも地域の方からの応援が必要不可欠。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
その他 (防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師（応急手当普及員講習受講者）及び消防設備業者の指導のもと職員対象に下記の訓練を実施</li> <li>1. 煙体験</li> <li>2. AEDを用いて一次救命訓練</li> <li>3. 竿、毛布を使用して応急担架作り、搬送訓練</li> <li>4. 水消火器を使用しての消火訓練</li> <li>5. 消火栓を使用しての放水訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防設備業者の指導のもと、補助消火栓の取扱方法説明と実際に消火栓を使用しての放水訓練を実施</li> </ul>

### 3. 研修参加の状況

#### 【外部研修】

	研 修 名	研修期間						参加 人数	日数	延べ 人数
		年	月	日	～	月	日			
1	給与制度・人事考課制度構築の進め方	28	4	14		4	14	1	1	1
2	主任介護支援専門員研修		5	24		5	25	1	2	1
3	南区成年後見制度勉強会		5	26		5	26	7	1	7
4	新潟市認知症介護基礎研修		5	27		5	27	3	1	3
5	主任介護支援専門員研修		5	30		5	31	1	2	2
6	主任介護支援専門員研修		6	3		6	7	1	4	4
7	中堅職員研修コース I		6	6		6	6	1	1	1
8	ボランティア受け入れ施設担当者研修		6	9		6	9	1	1	1
9	主任介護支援専門員研修		6	13		6	17	1	4	4
10	新潟県社会福祉法人経営者協議会経営者・管理者実践研修		6	24		6	24	1	1	1
11	社会福祉施設指導的職員研修		6	27		6	28	2	2	4
12	労務セミナー（就業規則を改めて見直してみませんか）		6	28		6	28	1	1	1
13	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会総会・研修会		6	29		6	29	3	1	3
14	社会福祉施設中堅職員研修		7	5		7	6	1	2	2
15	多職種連携研修 口腔ケア編		7	5		7	5	2	1	2
16	接遇研修（リーダーコース）		7	7		7	7	1	1	1
17	「現代型」労働問題に関する具体的対応策セミナー		7	11		7	11	1	1	1
18	介護事業場就労環境整備セミナー		7	12		7	12	1	1	1
19	高齢者虐待勉強会		7	15		7	15	3	1	3
20	社会福祉施設中堅職員研修		7	19		7	20	1	2	2
21	みなふくねっと第1回勉強会		7	20		7	20	4	1	4
22	社会福祉施設指導的職員研修		7	21		7	22	2	2	4
23	社会福祉法人監事研修		7	27		7	27	1	1	1
24	南区コミュニケーション学習会		7	28		7	28	5	1	5
25	社会福祉法人制度改革対応セミナー		7	29		7	29	1	1	1
26	気づく力研修		8	3		8	3	1	1	1
27	予防プラン学習会		8	3		8	3	3	1	3
28	身体拘束・虐待を防ぐケア/介護事故とリスクマネジメント		8	5		8	5	1	1	1
29	社会福祉施設職場研修担当職員研修（前期）		8	8		8	9	1	2	2
30	看護職員実務研修		8	20		8	20	1	1	1
31	気づく力研修		8	23		8	23	4	1	4
32	福祉職員キャリアパス対応生涯過程（初任者コース）		8	24		8	25	2	2	4
33	認知症ケア・対応研修		8	30		8	30	1	1	1
34	就職差別のない公正採用選考		8	30		8	30	1	1	1
35	介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修会		8	31		8	31	1	1	1
36	社会福祉施設職場研修担当職員研修（後期）		8	31		9	1	1	2	2
37	コミュニケーションスキルアップ研修（初任者コース）		9	1		9	1	1	1	1
38	コミュニケーションスキルアップ研修（リーダーコース）		9	6		9	6	2	1	2
39	平成28年度養介護施設・養介護事業管理者「高齢者虐待防止」研修		9	8		9	8	1	1	1
40	メンタルヘルス研修（一般職員コース）		9	8		9	8	1	1	1
41	第22回新潟県老人福祉施設研究大会		9	13		9	13	4	1	4
42	みなふくねっと南区居宅連絡会合同研修会		9	15		9	15	10	1	10
43	メンタルヘルス・セルフケア研修		9	21		9	21	1	1	1
44	平成28年度障がい者雇用促進セミナー		9	21		9	21	1	1	1
45	認知症ケア・対応研修		9	23		9	23	4	1	4

	研 修 名	研修期間					参加 人数	日数	延べ 人数	
		年	月	日	～	月				日
46	福祉職員キャリアパス対応生涯過程（管理者コース）		9	29		9	29	1	1	1
47	社会福祉トップセミナー		10	5		10	5	1	1	1
48	新任職員研修		10	18		10	19	2	2	4
49	平成28年度第2回新潟市認知症介護実践研修		10	18		10	28	1	5	5
50	障がい者のためのスキルアップセミナー		10	19		10	19	1	1	1
51	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会研修会		10	20		10	20	3	1	3
52	第66回 新潟県民福祉大会		10	25		10	26	3	1	3
53	平成28年度第2回新潟市認知症介護実践研修		11	1		11	15	1	2	1
54	過重労働解消のためのセミナー		11	2		11	2	1	1	1
55	医療・介護連携ITツール研修会		11	5		11	5	1	1	1
56	コーチング研修		11	7		11	7	1	1	1
57	中堅職員研修コースⅡ		11	11		11	11	4	1	4
58	高齢者虐待勉強会応用編		11	11		11	11	5	1	5
59	初級リスクマネージャー養成講座2016（前期）		11	14		11	15	1	2	2
60	多職種連携研修・機能訓練編		11	17		11	17	3	1	3
61	社会福祉施設看護職員研修		11	17		11	17	1	1	1
62	平成28年度施設介護支援専門員研修会		11	18		11	18	1	1	1
63	今日から役立つ介護現場の人材育成		11	18		11	18	2	1	2
64	南区コミュニケーション研修会（第2弾）		11	24		11	24	4	1	4
65	第2ブロック部会平成28年度第2研修会		11	24		11	24	2	1	2
66	記録を充実させるための記録の基本と体制及び環境整備		11	25		11	25	2	1	2
67	褥瘡予防学習会		12	1		12	1	4	1	4
68	平成28年度第2回新潟市認知症介護実践研修（実習中間報告会）		12	1		12	1	1	1	1
69	口腔ケア研修		12	5		12	5	2	1	2
70	介護職員のための腰痛を防止する介護技術コース		12	8		12	9	3	2	6
71	社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）		12	9		12	9	2	1	2
72	モチベーションアップ研修		12	12		12	12	3	1	3
73	介護人材採用と定着ステージアップセミナー		12	13		12	13	1	1	1
74	看取りケア研修		12	14		12	14	2	1	2
75	平成28年度虐待予防・対策		12	20		12	20	2	1	2
76	平成28年度第2回新潟市認知症介護実践研修（成果報告会・修了式）		1	10		1	10	1	1	1
77	発達障がい研修会	29	1	12		1	12	4	1	4
78	第1ブロック平成28年度第2回研修会		1	20		1	20	2	1	2
79	改正社会福祉法への対応と介護・福祉事業者の経営戦略		1	27		1	27	1	1	1
80	個別地域ケア会議学習会		2	8		2	8	3	1	3
81	初級リスクマネージャー養成講座2016（後期）		2	9		2	10	1	2	2
82	中堅職員研修コースⅠ-②		2	14		2	14	1	1	1
83	平成28年度総務委員会企画研修		2	16		2	16	1	1	1
84	平成28年度認定調査従事者研修		2	17		2	17	5	1	5
85	応急手当普及員再講習		3	1		3	1	2	1	2
86	平成28年度新潟県特別養護老人ホーム看護職員等研修		3	6		3	6	1	1	1
87	あしたの人事評価セミナー		3	7		3	7	1	1	1
								173	111	201

【内部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	倫理研修	28	4	11		4	11	11	1	11
2	接遇・ビジネスマナー		4	25		4	25	15	1	15
3	感染症研修（食中毒編）		5	16		5	16	9	1	9
4	看取り研修（基礎編）		5	23		5	23	8	1	8
5	介護保険制度「これから始まる地域包括ケアシステム～どう変わった特養?!」		6	13		6	13	15	1	15
6	介護保険制度「これから始まる地域包括ケアシステム～日常生活支援総合事業について～」		6	27		6	27	18	1	18
7	褥瘡研修		7	11		7	11	8	1	8
8	褥瘡研修		7	25		7	25	6	1	6
9	リスクマネジメント研修（応用編）		8	8		8	8	11	1	11
10	リハビリ		8	22		8	22	13	1	13
11	感染症についての基礎知識		9	12		9	12	11	1	11
12	感染症についての基礎知識		9	26		9	26	14	1	14
13	栄養研修（食事形態について）		10	11		10	11	12	1	12
14	口腔ケア研修		10	24		10	24	9	1	9
15	転倒・転落について		11	14		11	14	10	1	10
16	医療知識（薬について）		11	28		11	28	13	1	13
1	OJTのすすめ方（外部講師）		12	12		12	12	28	1	28
18	医療知識（薬について）		12	26		12	26	5	1	5
19	リスクマネジメント研修（管理編）	29	1	10		1	10	12	1	12
20	面談のすすめ方（外部講師）		1	23		1	23	20	1	20
21	記録について		2	13		2	13	9	1	9
22	看取り研修（応用編）		2	27		2	27	9	1	9
23	認知症ケア実践者研修復命		3	13		3	13	8	1	8
								274	23	274

（研修参加の状況）

平成28年度外部研修の参加状況は、新潟県社会福祉協議会、新潟県老人福祉施設協議会、南区包括支援センター、みなふくねっと等主催の研修会に一人1研修参加できるように調整してきた。また、昨年度に引き続き経営、労務管理、雇用促進に関するセミナー等へも積極的に参加できた。内部研修の参加状況は昨年度並みの状況だったが、その中でも外部講師を招いたリーダーシップを担う職員向けの研修は、多数の職員が受講できスキルアップへつなげることができた。

#### 4. 実習生受け入れ状況

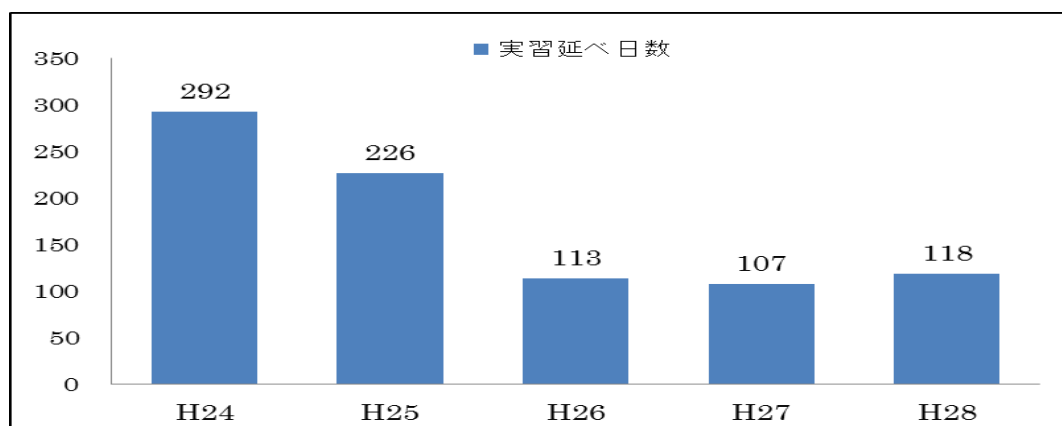
##### 【月別実習人数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習人数	0	0	2	0	1	2	2	3	2	0	1	0	13
延べ日数	0	0	17	0	8	25	13	47	5	0	3	0	118

実習名	人数	延べ日数	実習依頼校
社会福祉援助技術現場実習	3	71	新潟医療福祉大学 新潟青陵大学
介護職員初任者研修	1	5	三幸福祉カレッジ
介護福祉士実習	2	39	新潟青陵大学 新潟医療福祉カレッジ
介護支援専門員実務研修見学実習	1	3	新潟県
計	7	118	

##### 【年度別推移】

年度	H24	H25	H26	H27	H28
実習延べ日数	292	226	113	107	118



##### (実習生受け入れ状況)

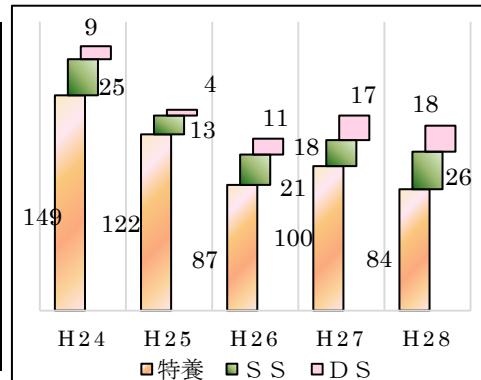
平成28年度実習生受け入れ状況は、昨年度並みだった。介護福祉士実習について、学生数の減少、学生の居住地より距離がある、交通手段がない、実習施設の増加等の影響から、養成校からの受け入れ依頼が大幅に減った。社会福祉援助技術現場実習について、長期間の実習であったが多様なプログラムを用意し受け入れることができた。介護支援専門員実務研修のカリキュラムが変わり、居宅介護支援事業所にて1名実務研修受講者の見学実習受け入れを行った。

## 5. 事故発生状況

### (1) 事故状況

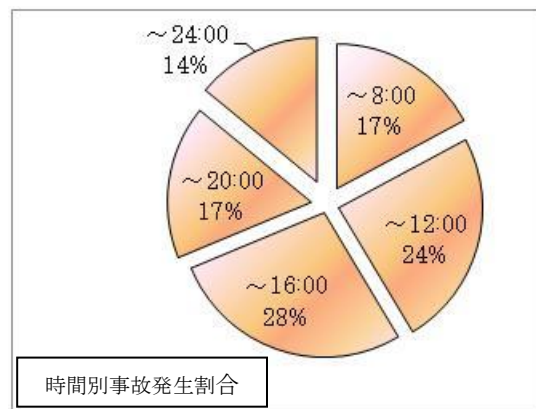
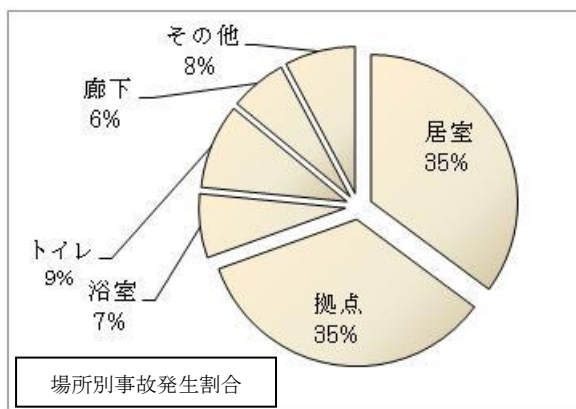
月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	11	7	12	16	15	9	8	12	6	9	16	128

(事故別)	特養	SS	DS	合計
転倒・尻もち	34	11	9	54
転落・ずり落ち	6	0	0	6
誤嚥	0	0	0	0
誤薬	3	1	0	4
その他	41	14	9	64
合計	84	26	18	128



(受傷別)	特養	SS	DS	合計
骨折	4	0	0	4
打撲・腫脹	10	2	0	12
表皮剥離	12	3	1	16
裂傷・擦傷	7	1	2	10
皮下出血	6	0	1	7
その他	4	4	1	9
異常なし	42	16	14	72
合計	85	26	19	130

平成28年度事故発生状況について、ヒヤリハットの取り組み強化にて件数がやや減少するも、特養にて転倒による骨折事故が4件発生した。そのうち自立度の高い利用者が職員の見守りない状況で発生したのが3件あった。この状況を重く受け止め転倒事故非常事態宣言を発令し、対応策の検討を行った。



### (2) 苦情 (意見・要望等)

	特養	SS	DS	居宅	その他	合計
H27	6	7	13	3	5	34
H28	9	5	2	4	0	20

苦情 (意見・要望等) 受付状況は、利用者から直接2件、他は利用者家族からの申し出であった。また同じ家族より内容は異なるが数回受け付けた。苦情 (意見・要望等) の内容は、説明不足、接遇、利用者処遇、請求に関すること等多岐に渡った。



6. ボランティア受け入れ状況

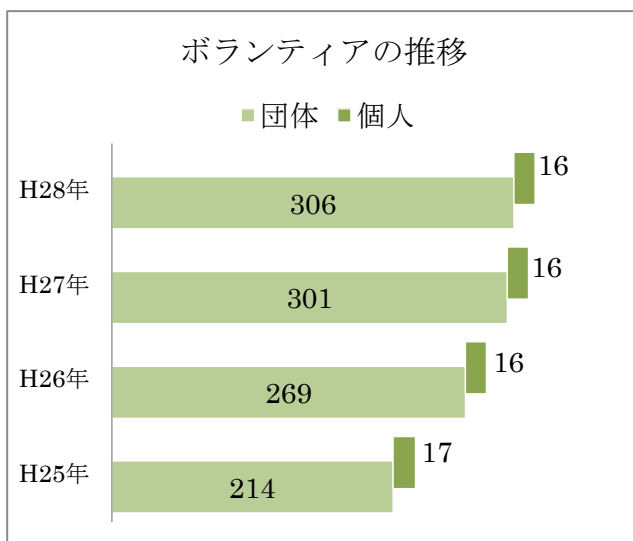
(1) 来園ボランティア

日付	ボランティア名	区分	人数	日付	ボランティア名	区分	人数		
H28	4月1日	滝沢文子様	個人	1	9月22日	折り鶴様	団体	8	
	4月4日	麗人会様	団体	7	9月22日	長谷川曹一様	個人	1	
	4月5日	折り鶴様	団体	4	10月3日	麗人会様	団体	5	
	4月14日	まめの木様	団体	3	10月4日	折り鶴様	団体	6	
	4月24日	ローターアクトクラブ様	団体	4	10月13日	まめの木様	団体	3	
	4月28日	折り鶴様	団体	7	10月23日	石津泰江様	個人	1	
	5月2日	麗人会様	団体	7	10月31日	宝紀民会様	団体	5	
	5月6日	滝沢文子様	個人	1	11月1日	折り鶴様	団体	7	
	5月12日	まめの木様	団体	3	11月7日	麗人会様	団体	6	
	5月19日	仲良会様	団体	4	11月10日	まめの木様	団体	3	
	5月26日	折り鶴様	団体	7	11月11日	ゆりの会様	団体	2	
	6月3日	滝沢文子様	個人	1	11月24日	折り鶴様	団体	6	
	6月5日	石山和美様	個人	1	11月25日	南区赤十字奉仕団様	団体	12	
	6月6日	麗人会様	団体	7	11月28日	影絵クラブこかげ様	団体	8	
	6月7日	折り鶴様	団体	6	11月29日	(株)ホクエー様	団体	2	
	6月16日	まめの木様	団体	3	12月1日	(株)ホクエー様	団体	2	
	6月23日	折り鶴様	団体	6	12月2日	滝沢文子様	個人	1	
	6月30日	狩谷洋子様	個人	1	12月5日	麗人会様	団体	7	
	7月1日	滝沢文子様	個人	1	12月6日	折り鶴様	団体	5	
	7月4日	麗人会様	団体	6	12月8日	仲良会様	団体	4	
	7月5日	折り鶴様	団体	6	12月8日	まめの木様	団体	3	
	7月14日	まめの木様	団体	3	12月20日	狩谷洋子様	個人	2	
	7月28日	折り鶴様	団体	5	H29	1月12日	まめの木様	団体	3
	8月1日	麗人会様	団体	6		1月27日	狩谷洋子様	個人	2
	8月2日	折り鶴様	団体	3		2月16日	まめの木様	団体	3
	8月5日	滝沢文子様	個人	1		2月23日	折り鶴様	団体	7
	8月18日	まめの木様	団体	3		2月18日	まめの木様	団体	2
	8月25日	折り鶴様	団体	6		3月2日	朱鷺の会様	団体	2
	9月2日	滝沢文子様	個人	1		3月4日	滝沢文子様	個人	1
	9月5日	麗人会様	団体	6		3月6日	麗人会様	団体	5
	9月8日	まめの木様	団体	3		3月7日	折り鶴様	団体	6
9月11日	南区肢体不自由児者父母の会様	団体	20	3月9日		まめの木様	団体	3	
9月22日	秋葉区芸能協会様	団体	15	3月22日		南区赤十字奉仕団様	団体	20	
9月22日	白根小唄音頭保存会様	団体	1	3月23日		折り鶴様	団体	6	
9月22日	ナニカイフラススタジオ様	団体	4						

(2) 月別ボランティア数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	25	21	22	20	18	57	19	46	21	3	12	42	306
個人	1	1	3	1	1	2	1	0	3	2	0	1	16
合計	26	22	25	21	19	59	20	46	24	5	12	43	322

### (3) ボランティアの推移



#### (ボランティア受け入れ状況)

ボランティア来園者数は、昨年度並みとなった。新規受け入れは伸び悩んだが、定期ボランティアが活動の継続ができるようにボランティア委員を中心に支援してきた。ボランティア交流会は、7団体個人合わせて25名出席、継続して5回目を迎えることができた。

### 7. 家族介護者教室の実施状況（新潟市委託事業）

開催／日時／会場	内 容	参加者数	職員数
平成 28 年 10 月 14 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 南区白根健康福祉センター 第 2 研修室	『高齢者の栄養と献立の工夫』 講師：しなの園管理栄養士	9	6
平成 29 年 3 月 10 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 白根学習館 ルーム 3	『介護者の健康づくり！ 気軽に できる簡単ストレッチ体操』 講師：しなの園機能訓練指導員	8	5
計		17	11

#### (家族介護者教室の実施状況)

平成 28 年度家族介護者教室は、2 回実施することができた。より多くの介護者が足を運びやすいように南区白根健康福祉センター及び白根学習館を会場にした。目標人数に達することはできなかったが、今後につなげることができた。